

こんにちは、日本臨床漢方医会です。

少しずつ秋の陽気になってきましたが  
いかがお過ごしでしょうか？

日頃からの養生と心身を整えられる  
「漢方薬」の活用は、  
秋を元気に過ごす一手になります♪

多くの方に「漢方」を知って頂きたい、  
皆さんに役立つ漢方情報をお届けします。

## ++..... I N D E X ..... ++

【1】 なるほど漢方講座  
～秋こそ漢方

【2】 秋の漢方～傷寒と気候変化

【3】 市民公開講座

【4】 講習会情報

■ 編集後記

---

【1】 なるほど漢方講座 ～秋こそ漢方

---

今年の夏は、観測史上最も長く  
猛暑日が続き、関東ではダムが干上がり、

田んぼがひび割れて、  
農作物にも大きな影響が出ています。

世界的にも異常な暑さとなり  
国連事務総長が” 温暖化の時代は終わり、  
地球沸騰化の時代が到来” と  
警告を出す迄になっています。

まさしく異常気象と呼べる状態です。

さて、この時期に咲く花で  
秋の七草の一つに”葛”があります。

7-9月頃に紫紅色の花を咲かせ、  
根から取り出した「デンプン質」は  
葛粉として葛餅や葛湯などに利用されます。

蔓（つる）の部分は、  
繊維をとりだして「葛布」という  
織物にも使用できます。

花は「葛花」という  
二日酔いの薬になります。

”葛根”という生薬は、  
この葛の根の皮をむいて  
乾燥させたものです。

”葛根”には、発汗・止渴・鎮痛の  
作用があり、葛根湯や参蘇飲、  
柴葛解肌湯などに配合され、

肩こりや感冒・下痢症状に  
よく使用されます。

クーラーの効いた室内で  
キンキンに冷やしたジュースや  
アイスを食べ、

身体の中まで冷やしていると  
気温は高くても、冬と同じ状態になり、

冷えによる血流障害や免疫低下、  
胃腸障害など、様々な  
体調不良を引き起こします。

さらには、身体が弱って  
カゼをひき易くなります。

”風邪に葛根湯”は、  
有名なキャッチコピーですが、

肩コリ・首のコリがある  
風邪の患者さんには、  
有効な漢方薬の一つです。

冷えの予防はもちろん、  
冷えて風邪をひいてしまった場合にも  
漢方薬は効果を発揮します！

お近くの漢方医にご相談ください。

漢方薬はいかがでしょうか？

草花クリニック・古田誠

---

## 【2】秋の漢方 ～傷寒と気候変化

---

近年新型コロナウイルスの影響で、  
市場に咳止めが枯渇化しています。

後遺症で咳嗽が長期化している人が  
いることも、原因の一つでしょう。

年々夏の気温は、  
なお高く期間も長くなり、  
秋の燥邪の勢いも、それに応じて  
厳しくなると考えられます。

「虚熱」というのは、  
中の水が不足しているのに  
熱が続いた結果として、

「鍋が空焚きになっている状態」

つまり、津液不足が原因とされています。

「肺」の「虚熱」の存在があるときは、  
補中益気湯、竹ジョ温胆湯、  
滋陰降火湯、清肺湯など

滋陰、補陰の作用を持った処方が  
望まれるのは想像に難くありません。

咽頭痛・嚥下時疼痛が  
主な症状だった第7波の頃、  
新型コロナに麻黄湯を服用し、  
脱水症で緊急入院となった方もいると聞きました。

水分補給の注意は勿論のこと、  
直中の少陰と見たならば、  
急性期には麻黄附子細辛湯の  
選択肢も念頭に置くべきでしょう。

漢方（特にエキス剤）を  
うまく使いこなすことができるようになれば、

治療効果はもちろん、  
現在の内服薬の供給不足への  
改善にもつながるはずです。

本邦の歴史において発展してきた  
伝統医療は、新規の病気にも  
臨機応変な対応が可能です。

学びなおす価値は、ここにもあります。

医療法人はるか 宗像久能病院 院長・久能はるこ

※竹ジョ温胆湯の  
ジョは、くさかんむりに如という字です。

---

### 【3】市民公開講座～どなたでも

---

一般の方にも漢方を  
もっと知ってより活用いただきたく  
漢方の講座を WEB 開催いたします。

もちろん医療関係者の方々にも、  
大変役立つ講座になると思います。

◆開催日時：11/3（祝・金）

15:00～16:30

※zoom ウェビナー（ライブ）視聴のみ

◆テーマ：痛みに漢方が効くらしい

◆演者：平田 道彦先生

（福岡県・平田ペインクリニック院長）

◆共催：小太郎漢方製薬株式会社

◆演者からのメッセージ

「痛みに漢方薬？」と

思っておられるかもしれませんが、

帯状疱疹後神経痛や

腹部脊柱管狭窄症の痛みや痺れなど、

なかなか治りにくい症状に

漢方薬は西洋薬より良く効くことがあります！

色々な実際の症例を見ていただき、

漢方薬の素晴らしさを知っていただきたいと思います。

※この公開講座は、どなたでも

分かりやすく漢方が学べる

オンライン講演です。

ネットが繋がる場所なら、

どなた様も、どこでもご視聴可能です♪

今、痛みがない方でも、  
加齢や疲れ・冷えなどで、  
急にギックリ腰になったり、  
足がつったり、帯状疱疹になる  
可能性はゼロではありませんね…。

健康に冬を迎える為にも、  
ぜひこの機会に漢方薬を  
もっと深掘りして学んでみませんか？

ご興味をお持ちの方は、まずは  
ご予約してはいかがでしょうか。

ご参加をお待ちしております m(\_)\_m

▼詳細・お申込みは

[https://kampo-ikai.jp/contents/ct\\_lecture8/](https://kampo-ikai.jp/contents/ct_lecture8/)

---

#### 【4】講習会～主に医師・歯科医師向け

---

■ ┌───┐  
┌───┐ 漢方の考え方が 10 分でわかるシリーズ  
└───┘ ■ ────┘

ツムラ共催で新しいタイプの  
短時間講習会を開催中です！

初歩から漢方を学びたい  
医師・歯科医師向けに約 30 分位の  
短時間で学べる「WEB セミナー」です。

現在、第 2 期が全 8 回シリーズで開講中です。

◆一例)

次回の日時：10 月 10 日（火）

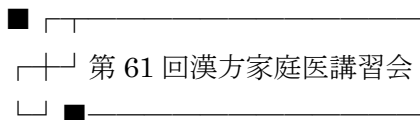
第 5 回「血の異常＜1＞  
血虚（貧血・冷え）」について講演します。

◆時間：19時から、19時半からの  
2コマあります。

※質疑応答を含め、約30分の  
短い時間で、効率よく学ぶことができます♪

◆演者：堀場裕子 先生  
(慶應義塾大学医学部漢方医学センター助教/医局長)

▼詳細やお申込みは  
<https://kampo-ikai.jp/contents/20220904-2/>



第61回漢方家庭医講習会

<日本医師会生涯教育参加証 対象講座>

◆日時：11月18日(土)  
17:30~18:45

◆テーマ  
「がん治療に関わる口内炎と半夏瀉心湯」

◆概要：  
がん治療に関わる口内炎治療に関し、  
半夏瀉心湯を中心に効果の得られやすい  
漢方薬についての使い方・考え方を症例を交えてお話し致します。

◆演者：樺沢 勇司先生 (東京医科歯科大学大学院 健康支援口腔保健衛生学分野 教授)

◆共催：日野市医師会、多摩市医師会、株式会社ツムラ

◆後援：東京都医師会

▼詳細やお申込みは  
<https://kampo-ikai.jp/contents/20231118/>

\*\*\*\*\*

※いずれの講習もWEB開催で、参加費無料！

※医会会員であれば、  
見逃しても【会員特典】として、  
他の過去の講習会も含めて、  
ホームページから、いつでもご覧いただけます♪

<一例>

▼漢方家庭医会講習会

<https://kampo-ikai.jp/category/movie/training/>

▼ショートレクチャー

<https://kampo-ikai.jp/category/movie/shortl/>

▼医会独自動画

<https://kampo-ikai.jp/category/movie/original/>

▼市民公開講座

<https://kampo-ikai.jp/category/movie/course/>

当会の各種 講習会で  
漢方への学びをより深めてみませんか？

当会では、ショートレクチャーを除く  
講習会・講演会へのご参加や  
動画視聴などで、規定の研鑽に努め、  
認証を得た会員を「漢方家庭医」として認証しています。

漢方を深く学びたい医師・歯科医師で  
「漢方家庭医」の認証を取得したい方は、  
<http://kampo-ikai.jp/profile/profile4/>  
より、案内をぜひご覧ください<m( )m>

---